



column

01

専門家コラム

西村医院 小児科医師 洲上 佐智子さん



夏の感染症 横綱手足口病

手足口病は口の中や手のひら、手の甲、足底、足の甲などに水疱を伴う複数の発疹が出るウイルス感染症です。主に夏に流行します。乳幼児に多く感染します。感染経路は飛沫、接触、糞口(ウンチに排泄されたウィルスが口に入って感染すること)感染です。好発年齢の子どもたちが集団生活をしている保育園や幼稚園などでは集団感染となりやすく注意が必要です。

○原因 主にコクサッキーウィルスCA6・CA16・CA10、エンテロウィルス71

○症状 発疹と発熱。発熱は38度前後のことが多く高熱が続くことはありません。

ほとんどが3～7日の内に治る病気です。四肢の発疹は痛がゆいことがあり、機嫌が悪くなります。口の発疹が痛いと言語さえ飲み込むのが辛くなり、水分が取れず唾液が多くなります。1週間ほどで治る病気ですが、中には髄膜炎や小脳失調症、脳炎という中枢神経系の合併症を伴うこともあり注意が必要です。1ヶ月くらいして爪が剥離する事もあります。

○治療 特別な治療はありません。口から水分が取りにくくなったりその他の症状が見られた場合は小児科を受診してください。

○予防 有効な薬やワクチンはありません。手洗いをしっかりとすることと排泄物を適切に処理することです。手足口病は治った後も長い期間ウンチにウィルスが排泄されますし、発症していなくてもウィルスを排出していることもあります。ですから発症した子どもだけを発疹を理由に長期間隔離することは有効な感染対策ではありません。発疹があっても、発熱がなくいつもの食欲があれば、無理せず集団生活を過ごしてかまわないと思います。ただ熱がなくても元気がなかったり、機嫌が悪かったり、食事が取れない場合は自宅で静養が必要です。まず子どもの気持ちになってゆっくり集団生活に戻してあげてください。

手や足、口の中などに
発しんはありますか？



てあしくちびょう 手足口病

手足や口の中などに水泡を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



感染してから数日後に2～3mmの水疱(発しん)がみられます。

流行時期

夏

を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入っ
染すること)が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感

治療方法

手

足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- ☐ 高熱が2日以上続く
- ☐ 嘔吐する
- ☐ 頭を痛がる
- ☐ 視線が合わない
- ☐ 呼びかけに答えない
- ☐ 呼吸が速くて息苦しそう
- ☐ 水分が取れずにおしっこがでない
- ☐ ぐったりとしている

- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。た、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急(<http://kodomo-qq.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「#8000(こども医療電話相談)」にご相談ください。

手足口病について ▶

 厚生労働省



感染症対策課 2026年6月 作成